

兵庫県トラック協会

平成27年10月

適正運賃・長時間労働に関するアンケート調査

現在のトラック運送業界は、輸送原価に見合った適正運賃の收受や労働時間改善という課題があります。下記事項について、貴社の状況をご報告いただきますようお願い致します。

----- 運賃は適正か？ -----

現状(実態)

従来は運送事業者の業務でなかった付帯作業が増えたが、運賃に反映されず
 現行の運賃は、1割安いと思う。冬期割増(積雪、凍結対策などの為、1.5割増)を復活して欲しい
 一部荷主には値上げに応じてもらったが、大半の荷主は据え置き
 新規の見積もりには、少し高めの運賃を提示している
 概ね、値上げに至っている
 運賃は適正

荷主の対応状況

未だ、一部荷主は「安く運ぶ運送会社はいくらでもある。」という認識
 運賃見直しを要請するも、なかなか応じてもらえず
 車両不足(ドライバー不足)もあり、発注内容(配車、荷待ち時間)穏やかになっている
 車両不足(ドライバー不足)もあり、スポットではあるが運賃アップに応じてもらっている
 運賃見直しに応じてもらっている

課題

この機会を逃さず、業界がまとまり、「適正運賃の收受」に取り組む絶好のタイミング
 A地点からB地点までの運賃だけでなく、如何にして付帯料金をいただけるか
 運送コスト増を運賃として回収できない
 物流子会社が在れば、なかなか要望がとおらない
 工場構内の横持ちの一部料金について単価アップを申し入れている

----- 長時間労働となっていないか？ -----

現状(実態)

荷積み、荷下ろしの待機時間が長時間拘束時間の原因

待機時間が長い

稀に、長時間の待機が発生している

付帯作業が増えたことが長時間労働の原因

月間拘束時間はクリアできてるが、連続8時間の休息時間や運転4時間毎の30分休憩

荷主の運送依頼とドライバーの求める給与額に応えるため長時間労働となっている

荷主の対応状況

待機時間の短縮を要請するも、改善なし

荷主が配送コストの見直しや要員削減にとり組み、そのツケを事業者に戻してくる

多くの荷主は、待機時間の現状を説明すれば、柔軟に対応してくれている

積込や荷下しの時刻指定を考慮してもらっている

荷主企業と運送事業者による定期的な改善連絡会議を開催している

課題

待機時間の短縮

運行頻度(回数)を見直しても良いケースも多い

ドライバーが就労意欲をなくさずに労働時間を短縮すること

(運賃の値上げ → 労働時間の短縮 = 魅力ある職場)

事業者の交渉も必要だが、トラック協会或いは行政からの働きかけもお願いしたい

担当 : 兵庫県トラック協会 業務部 & 適正化事業部